

令和4年11月11日（金）3・4校時 2年進学コース日本史Aの授業
掲載

・郷土の歴史探訪として、大仙市にある旧池田氏庭園を見学してきました。



唯一の入り口の門の前で記念撮影。その門の屋根の棟の端には、池田氏の家紋にゆかりのある生き物が彫ってありました。

門から見た景色です。とても広い屋敷ということがわかります。入って左は畑などに利用されていた様でした。



中には、このような石も。石からも歴史を感じられます。



米蔵の中へ。



一俵60kgの米俵が6000俵保管されていた米蔵。写真ではわかりづらいですが、黒い鉄筋と側壁との間隔が地面と天井では微妙に・・・



米蔵の外には、石を運ぶための木材となります。



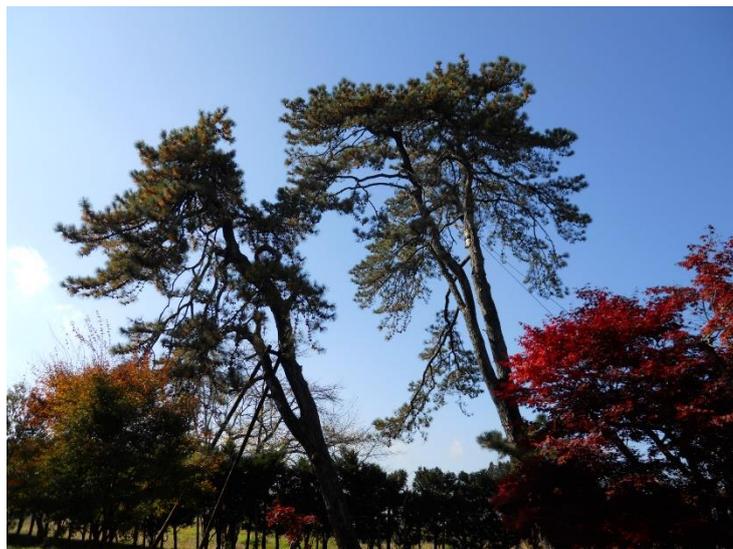
焼失してしまった屋敷跡から望む真昼岳。屋敷に住む人が眺めるための池などがあります。



雪見灯籠を遠くからと近くから。大きさは、高さ4 mくらい。近くに立つと大きさがわかりますね。



春日灯籠。左側の欠けている部分は日本海中部地震に倒れてしまった際の跡。この灯籠にも十二支が彫られており、彫られた理由もとても興味深く聴いています。



北西にある松の木。弘法大師の空海とゆかりがあるようです。洋館を雪見灯籠から。



最後は、洋館内部を見学しました。

近くで見るとなかなかの迫力です。



洋館内部の様子となります。

図書室として解放されていた部屋や蓄音機らしきものがありました。壁は、金唐革紙が惜しみなく使われていました。その型を押す木型には模様が精密に彫られていました。



帰路の途中で、払田の柵の近くにある分家へ。外観のみの見学でしたが、立派な庭でした。右は、今回の訪問で頂いたクリアファイルやパンフレット、記念スタンプ、松の葉です。天気にも恵まれてとても有意義な校外学習となりました。案内をして頂いた池田家顕彰会の藤澤様をはじめ、スタッフの皆様、ありがとうございました。